



自分たちで行事をつくる

校長 手代木 英明

「私たちは、昨年度、先輩方がやったウォーターフェスティバルのような行事をしたいです。許可していただけますか？」と校長室に五年一組と二組の代表委員が、左の手紙を持って来ました。

「それで、何がやりたいの？」と聞くと「これから学級会で決めます。」と実に民主的な答えが返ってきました。高学年のリーダーとして、みんなの意見を聞きながら

計画することができていました。

コロナ禍でも、神宮前小の子供たちは、アイデアを出して、話し合い、新しいスタイルの学校生活をつくって来ました。

卒業生は、ウォーターフェスティバルやスポーツデイを自分たちでつくり上げた行事としての価値と成功した喜びについて、多くの子が卒業文集に書いていました。

高学年児童の活動は、中学校へ向けての準備期間でもあります。学習指導要領にも示されている通り、「主体的・対話的で深い学び」

は、普段の授業だけでなく、行事や学校生活のすべてで培われていきます。今年の五・六年生は、昨年度の最高学年の活躍を見てきた

したので、バージョンアップした行事や新しい取組が生まれそうです。高学年の子供たちの活躍に、期待しています。応援をよろしくお願いたします。

今年のスポーツデイも子供たちが考えます。



プールサイドは、からし色になりました。

プール開きは「eoms」で

六月二十八日(月)プール開きを行いました。今年も、体育館から各学級に中継し、プールの入り方は、動画配信をしました。

一昨年末では、「校長・体育主任・

養護教諭のお話」をしてきましたが、今年も、動画付です。動画に出演したのは、六年一組の子供たちです。プールでの動作の手本を見せてくれました。それを各学級で担任の解説を交えながら、視聴しましたから、例年よりも分かりやすくなったと思います。

今年の水泳指導は、密を避けるために学年ごとの開催にしましたので、例年の半分程度しか入れませんが、新しくなったプールサイドとフェンスの中で、思いっきり泳がせたいと思います。忘れ物のないように準備させていただきます。

七月の生活指導

身の回りの整理整頓をしよう

七月に入り、夏休みが近づいてきました。学校では、掃除や片付けについて週目標を設定し、取り組んでいきます。

学校は集団で生活する場ですので、互いに気持ちよく過ごすためには、決まったスペースで自分の物を管理することが大切です。それにより、全員が落ち着いて学習に取り組める環境をつくることができます。

また、子供は誰でも落とし物をしたり、友達のものを取り違えてしまったりすることがあります。そのような時、持ち物に記名がされていないため、持ち主に戻らないことが多く、残念に思います。自分の持ち物に愛着をもち、物を大切にすることを育てるために、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

お知らせ

4月からの校内での落とし物を、七月十四日〜八月二日の間昇降口に展示しますので、ご確認ください。(現在、土曜授業参加観を実施していないので、個人面談期間に展示します。)持ち主が見つからなかった物は処分いたします。ご了承ください。

(生活指導部)